

## 今度ははっきり言えた

片手をあげて、合図を送ると、向こうも手をふった。

「役者がちがうがな。」と、僕はひとりごとを言った。

田口の家はすぐ見つかった。

そばに、今はやりのスーパー・マーケットがあった。

去年、田口は、暗唱大会で一位を取った。

今年は、弁論大会参加の第一指名。

ところが、原稿にするいい案がない様で、また、時間がかかりすぎ、今年も、勉強が忙しいので、「英語弁論大会には挑戦しない」と言う。

「よかったー」

もう原稿書き終わっていたら、どうしようかと、思っていたが、安心した。

少し、昼寝させてもらった。

朝が早くて、どうも昼寝するくせがある。

日が傾く前にと、今度は、東山を越えて、八瀬修学院へ走った。